

第 107 回番組審議委員会議事録

日時：令和 5 年 11 月 15 日（水）13 時 30 分～

場所：富士市民活動センター/コミュニティエフ（富士市吉原 2 丁目 10 番 20 号）

1. 委員総数 8 名

2. 出席人数 5 名

3. 出席委員の氏名

稲葉美津江 委員長・赤池英明副委員長・長橋順 副委員長・

佐野智広 委員・内藤祐樹 委員

4. 放送事業者出席者名

小沢教司 代表取締役社長

山本茂 放送局長

山本局長：本日はお集りいただきありがとうございます。今日は 107 回目の番組審議となります。まずは稲葉委員長から一言お願い致します。

稲葉委員長：急に寒くなってきてまして、富士宮から吉原に来ると暖かいなと感じております。暖かい分、花粉も飛んでいる様を感じています。今日も審議・ご意見よろしくお願い致します。

山本局長：続いて、弊社社長 小沢から一言お願い致します。

小沢社長：皆様本日もお忙しい中お越しいただきましてありがとうございます。富士宮市から来られてきている方が多く、ありがとうございます。本日も忌憚のないご意見よろしくお願い致します。

山本局長：続いて前回の審議内容についてのご報告ですが、毎週第 2 第 3 水曜日に放送している「@富士市役所」、富士市提供の番組ですが、議事録の詳細はラジオエフの HP に掲載させていただきました。この番組は富士市役所の職員を PR するという、富士市側の想いがあったと思いますが、結果的に皆様の評価も良く受け入れられました。富士市役所を身近に感じられる内容だったと、富士市の方に伝えていきたいと思います。

山本局長：さて、今回ご審議していただく番組を紹介します。毎週月曜日 16 時 30 分から放送している「F エリア フカボリ研究所」の番組の中で放送しています、「SDGs へのはじまり富士市」。今回も提供が富士市ですが、富士市企画課 SDGs 推進室が提供になっております。富士市内の SDGs 活動の内容を PR しつつ、SDGs の運動を広めていこうという番

組でございます。今日お聴きいただくのは、11月6日月曜日に放送された分で、ナビゲーターが富士市富士宮市出身の高校生大学生が出演、今回の放送は高校生が担当しています。今回はSDGsに取り組んでいる企業として出演しているのは、富士川プラスチック工業株式会社にご出演いただきました。それでは番組概要をご覧くださいながらお聴きください。

番組審議

- ・ 審議番組 SDGs へのはじまり富士市
- ・ 放送日時 令和5年11月6日(水) 18:40～
- ・ 出演 ナビゲーター：富士市富士宮市出身の高校生
出演：富士川プラスチック工業株式会社
- ・ 番組編成制作方針、説明
- ・ 質疑応答

約10分後

山本：それでは稲葉委員長 審議のほど、よろしくお願ひ致します。

稲葉委員長：ただいまから審議を始めたいと思います。今、巷で有名なSDGsで、皆さんも個人、企業で何かしらやっていたらと思います。何かご意見がありましたらお願い致します。

長橋副委員長：番組内容ですが、インタビュアーが高校生で、高校生らしい真面目さと緊張感が印象的でした。その高校生を受けいれている会社の社長さんがクダケタ感じの方で、高校生の気持ちを和らげようとしていたのが読み取れて、ほのぼのした内容でとてもよかったです。これは演出ですか？

山本：これは演出ではなく、ナチュラルな形で収録しています。

長橋副委員長：20社あるという事で、他がどんな対応されていたかわかりませんが、こ2人のかけあいがよかった。会社のコマーシャルを会社の社長がやるのではなく、取材した学生がやる。という考え方もよかった。それから企画について、これは20人の学生が各事業所に1人1社担当するという事ですね？

山本：そうですね。1人1社で、現在までに9社分が放送されています。

長橋副委員長：そうですか。大学生や高校生が地元の企業に行って、SDGsも学べるという企画で良いなと思いました。これは夏休みに収録したんですね。今年の夏休みで20社やって一旦終了という事なら、来年も是非やって欲しいなと感じました。

稲葉委員長：そうですね。インタビュアーがすごく緊張しているのが言葉で伝わってきて、それを社長さんが受け止めながら、一生懸命話を先に進めているのが好印象でしたね。佐野さんはいかがですか？

佐野委員：私も本当に同じ意見で、他の方のインタビューも聞いてみたいです。ただ、そこが良い面であり、逆に同年代、社長さん側が聴いた時、どういう風を感じるのか。言葉遣い、砕けすぎるのがいいのか？どうかも少し感じました。また、高校生が20秒で話をするとき、話す前に20秒と先に言ってくれたので、早口になるのかな？と聴く側が準備できた。実際早口になり、20秒以内に収めなきゃいけないというのもわかりました。ただ、時間配分などあったとは思いますが、もう少しゆっくり話してもらえる様に枠を延ばす事も可能ではないかと思いました。

稲葉委員長：ありがとうございました。自分がインタビューしたものを、一生懸命誰かに伝えたいとなると、少し早口になってしまうので、そこを考えていただけるとよいかもかもしれませんね。

赤池副委員長：インタビューは、ナチュラルなやりとりと言っていましたが、何回かリハーサルとかしているんですか？

山本局長：現場に立ち会っていないので分からないですが、インタビューのやりとりを編集はしていると思います。

赤池副委員長：感想として、高校生が非常に上手いなと思いました。つかかる所もなく、編集されているからそういう風に聞こえるかもしれませんが。自分が高校生の時に、その立場になったらうまく出来ないと思いました。富士川プラスチック工業さんは他の主力商品などの説明はありましたか？

山本局長：事業内容の詳しいところまではしていませんね。

赤池副委員長：企業としてSDGsに取り組む時、主力商品を作っている中で、こういった取り組みをやっているのか？SDGsはほんの一部なのか？そういったことがわかってもよいかと思いました。

内藤委員：私も赤池さんと同じで、どういう会社なのかがわからなかった。ただ、会社の名前を出して商品を販売していないのかもしれない。番組はラジオエフが考えた進行や質問などのフォーマットを元に進行しているのか？高校生に考えてもらったのか？

山本局長：そうですね。企画段階で富士市とすりあわせをして、方向性が決まっています。その中で、あくまで学生にある程度まかせて取材に行ってもらっている形だと思います。

内藤委員：先ほど20秒のCMについてお話がありましたが、私は逆にまとめなきゃいけないって意味では効果的ではないかと感じた。学生たちにとって上手く働いているという印象があります。少ない言葉数でまとめなきゃいけないっていう事は、咀嚼しなければならぬ。取材している所を放送した後に、短くまとめたものを流すのは、両方あることによって、バランスがとれて面白いと思います。そして、流れとして番組っぽくて良いかなと思いました。ほかの学生達も同じことをやっているなら、学生達が行う仕事として課題と成果物を出すやり方がやりやすいのかな。と思いました。

この学生の進行は、誰かがCMを作るという風に企画したのか、高校生がやってみたいと言ったのか、そこらへんは個人的に気になりました。高校2年生がここまで話が出来るというのは凄いと感じました。質問して、受けて、相槌をうちながら、自分の言葉におきかえて、聴いている側がわかりやすくなるような流れになっている。こういうインタビュアーに参加したいと考える人は志が違うなと思いました。

稲葉委員長：私も高校生の時は、大人と話をして、上手にやりとりするっていう事が出来ていなかった。そういう意味で凄いですよね。これがまた、取り組みとは関係なく彼自身の役に立つと感じました。

ここの製品かどうかわからないですが、友達からプラスチック100%リサイクルのハンガーを貰ったことがあります。ここの製品かもしれない。と思いながら聞きました。

社長さんの話の中で「自社ブランドを立ち上げて、下請けから脱却したい。」という話を子供たちの前で話せるというのはとても素晴らしい事だと感じました。

他にありますか？こういう企画・SDGsをこういった側面で行ってみたいと思う所はありますか？

山本局長：番組内でも触れていましたが、SDGs推進ポータルサイトがありまして、今回の内容も聴く事が出来ますし、文字化したインタビュー内容もあります。そういった形で事業を行っています。

そして、今回出演の高校生については、私共の放送で毎月一回放送している生放送番組「ラジオエフ部」という中高生が作る番組があるんですが、もしかしたらその子が応募したのかもしれない。そうすると、人に伝えるという事に意識があるのかもしれない。

稲葉委員長：たしかに人に伝える意識があるから受け答えがしっかりしているのかもしれませんがね。

赤池委員：私の所で、高校生が学校の勉強でたまに来ています。中学生小学生も来るんですが、今回聴いた高校生の様にしゃべれる子ってなかなかいませんね。そういう意味ですばらしいですね。毎回このぐらいのレベルのお子さんなんですかね。

山本局長：もちろん個人差はあるかもしれないけれども、一般的な高校生より意識があるかもしれませんね。

長橋副委員長：昔は学校の放送部があって集まって終わっているけど、地元こういうコミュニティエフエムがあると、外部との繋がりができて、やりがいも出るので良い企画だと思います。そのラジオエフ部は月一回ですか？

山本局長：月一回ですね。

小沢社長：月一回放送していて、多くのスポンサーがついて下さっています。ちなみに今日審議している富士市企画課「SDG s 市民への普及啓発取材事業」については富士市企画課から 1,900 千円、その他、廃棄物対策課「SDG s 食品ロス事業」に対して 1,000 千円を SDG s 取組み事業の一環として、それぞれ富士市から出稿料をいただいています。

尚、これら一連の「地方創生 SDG s 取組み事業」の取り組みに対して他社とともに弊社も評価され、11 月 30 日に内閣府に行き金融表彰（静岡県内＝合計 21 社表彰）を受けに行ってきます。

稲葉委員長：すごいですね。この流れで番組で食品ロスについてもやっていますか？

小沢社長：今、お話しした通りやっています。

稲葉委員長：わかりました。何かほかにありますでしょうか？

佐野委員：関連があるかわからないですが、富士宮市に「高校会議所」があります。ベビーカーを使わなくなった方から受け継いで、それをレンタルしたりしています。これも SDG s の一環で行っています。そこの子供達も今日聴いた子と同じくらいしっかりした質問ができるんです。富士宮は富士からすると、観光・行政の連携が相当遅れている。高校会議所と

ラジオエフが連携すると若者の交流が活発化になると思うので、機会があれば是非お願いしたい。

山本局長：富士宮高校会議所さんは、発足当初から話題になっていましたし、ラジオエフでもインタビューをしたりしているので、何かありましたら是非よろしくお願ひしたいです。

小沢社長：是非何か動きなどがあつたら言つて下さい。取り上げますので。

稲葉委員長：富士宮は学生さんの集まりの中で高校会議所が活発。ただ学校から推薦されて来るわけではなく、自分がやりたいと考えている子が来ています。

山本 もう10年くらいですよ。

稲葉委員長：全国大会みたいのがあつて、各地域でいろいろな行事や話し合つていが行われています。そういった中で、SDGsを取り上げて話し合つている所が多いです。SDGsに関心がないんじゃないかと、関心がとてもあるんですね。

他にありますか？

では、今日はここまでとさせていただきます。

小沢：ではお時間になりましたので、次回は来年1月17日水曜日午後1時30分からご出席される方はよろしくお願ひ致します。
本日はありがとうございました。

議事録の公表：令和5年12月1日 自社ホームページにて公表